

本 部 報 告

◎支部長会議報告（斉藤支部長）

平成 21 年度 第 2 回支部長会議報告

日 時：平成 21 年 9 月 28 日(月)

13：30～17：00

場 所：葦出第二ビル 5 階会議室

出席者：(本部)高橋会長、山崎副会長、内村副会長、末利副会長、高木専務理事、西村常務理事、横山審議役
(支部長)斉藤、吉川、中山、辻、福岡、近藤、甲斐

議長：中山北陸支部長

会長挨拶

本部交代役員紹介

(山崎・内村・末利各副会長・横山審議役)

1. 本部報告及び確認事項

- (1) 理事会報告（第 2 回・3 回）
- (2) 中国「国家外国専門家局と日本技術士会との協議書」取り交わす（外国の専門家を入れて、中国の社会経済の発展を意図している）
- (3) 平成 23 年度技術士全国大会（東京－創立 60 周年記念全国大会）準備状況中間報告
- (4) 平成 21 年度技術士 1・2 次試験報告
- (5) 平成 22 年度事業計画策定方針について
- (6) 講演会・見学会の補助金見直し（案）
- (7) 中四国支部から四国支部を分離する検討の中間報告
- (8) 支部運営規則検討報告

2. 支部報告

- (1) 北海道支部（斉藤）
 - ・第 29 回地域産学官と技術士との合同セミナー開催について
 - ・第 12 回北東 3 支部技術交流研修会開催について
- (2) 東北支部（吉川）
 - ・第 36 回技術士全国大会（仙台）準備状況報告

(3) 中部支部（辻）

- ・第 37 回技術士全国大会（四日市）準備状況報告

(4) 近畿支部（福岡）

- ・大阪府立工業専門学校との教育研究交流協定の締結について

(5) 中・四国支部（近藤）

- ・四国支部新設の要望について

(6) 九州支部（甲斐）

- ・NEXA (株)全国試験運営センターへの委託業務について⇒契約内容公開の要望

(7) 北陸支部（中山）

- ・技術士会職員の研修について
- ・入退会への関与の必要性について

◎理事会報告（能登理事）

平成 21 年度 第 3 回

日 時：平成 21 年 9 月 10 日(木)

13：00～16：00

場 所：葦手第 2 ビル 5 F 会議室

議 題：(主なもの)

【審議事項】

- ① 委員会名称変更に伴う規定の変更
→原案通り了承された。
- ② 委員会委員の異動
→原案通り了承された。

[報告事項]

- ① 平成 22 年度事業計画策定に当たっての基本方針
→内村副会長から報告があった。
- ② 平成 21 年度技術士 CPD 監査の実施
→前年度に引き続き、CPD 会員から無作為に 10%程度抽出し、12 月に監査を実施するとの報告があった。
- ③ 平成 21 年度技術士第二次試験実施状況等報告
→総監を除く技術部門で 23,540 名(受験率 77.9%)、総合技術監理部門で 3,266 名(受験率 74.4%)、応用理学部門の必須科目で出題ミスが

あり、受験者に不利にならないよう配慮して採点する等の報告があった。

④ 平成 21 年度技術士第一次試験受験申し込み状況等報告

→合計 29,874 名の申し込みがあったと報告があった。

⑤ 県技術士会との覚書締結状況報告

→「日本技術士会」の名称の冠使用に関して、関東甲信地域 8 県の県技術士会すべてと、支部地域における県技術士会では北陸支部が富山県技術士会との間での覚書締結が完了したとの報告があった。

⑥ 会員等の入退会状況

→事務局から、平成 21 年 7 月末現在、会員 13,413 名、準会員 A 11 名、準会員 B 3,634 名、賛助会員 177 社である事が報告された。

平成 21 年度 第 4 回

開催日時：平成 21 年 11 月 12 日(木)

13:00~16:00

場 所：葺手第 2 ビル 5 F 会議室

議 題：(主なもの)

【審議事項】

① 中・四国支部のからの四国支部の分離について

→四国 4 県の会員数が 300 人を超えたので、平成 22 年 4 月から四国支部の分離設置が可能となるよう準備を進める旨が了承された。事務局経費の取り扱い、支部新設に伴う理事選挙の変更に関し、検討することとなった。

② 講演会・見学会開催補助費運用規則の変更について

→現行基準では会員数に応じ補助金額を 10 万円単位としているが、これを 1 万円単位とすることが了承された。これにより北海道支部への補助金は、平成 21 年度 50 万円から平成 22 年度

64 万円となる。

③ 平成 23 年度技術士全国大会(創立 60 周年記念)運営委員会の設置・運営規則

→原案通り了承された。

④ 会費未納による退会について

→定款第 10 条第 3 項により、2 年以上会費が未納の会員 33 名を退会したものと見なすことにした。

[報告事項]

① 理事選挙制度の検討着手

→四国支部の分離新設に伴う現行理事選挙制度の見直しについて、まず部会長会議において検討し、その結果を踏まえて総務委員会が制度検討する旨が報告された。

② 第 36 回技術士全国大会(仙台)報告

→全国から約 700 名に及ぶ参加者があったことが報告された。

③ 第 39 回日韓技術士会議報告

→標記会議が 10 月 7 日~9 日の日程で韓国仁川で開催され、日本側 82 名、韓国側 224 名の参加者であったことが報告された。

④ 平成 21 年度技術士第二次試験(筆記試験)の結果について

→受験申込者数 34,614 名(うち受験者 26,743 名)に対し、5,139 名が筆記試験合格者であったこと、合格率は 19.2%であったことが報告された。また JABEE 認定者が 200 人受験し、14 名の合格があったことが報告された。

⑤ 会員等の入退会状況

→事務局から、平成 21 年 9 月末現在、会員 13,393 名、準会員 A 11 名、準会員 B 3,629 名、賛助会員 176 社である事が報告された。

⑥ 常設委員会等報告

→各委員会から活動状況の報告があった。